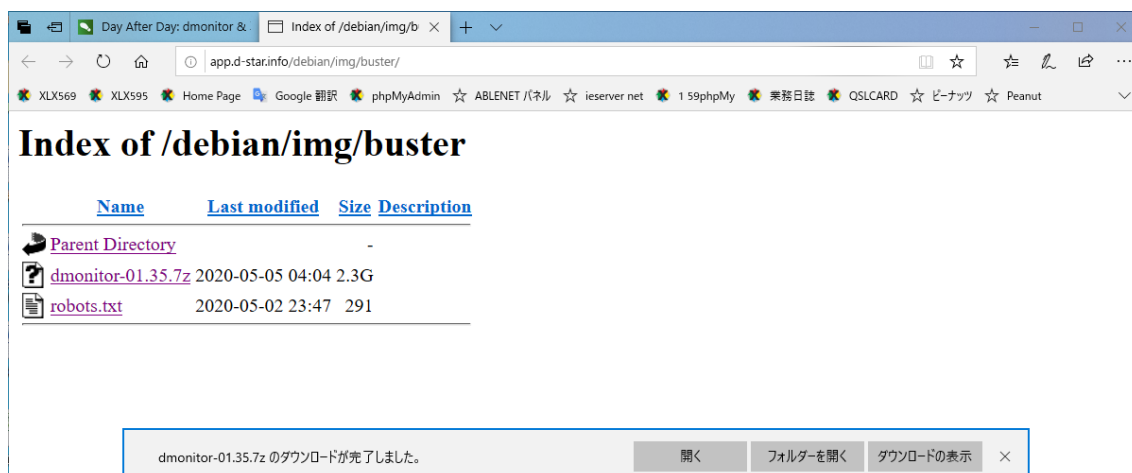


dmonitor のイメージファイルを作る

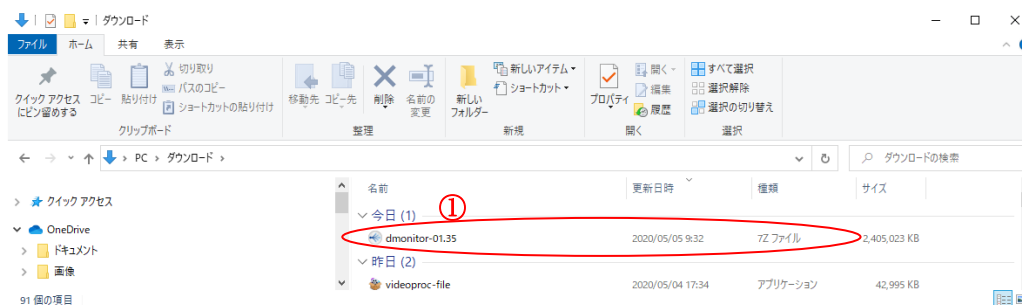
Shu JA3GQJ

dmonitor を使うためには Raspberry Pi にここで作るイメージファイルが必要なので、2020・5・5 現在のバージョンで私なりにその手順を纏めてみました。この手順を覚えるとバージョンのアップデートも一番確実に行えます。尚、パソコン本体に SD カード挿入口がない場合は別途外付けの SD カードリーダー（それほど高価なものではなく 2～3 千円迄の物でよい）が必要です。外付けの SD カードリーダーがあれば Raspberry Pi の SD Card Copier という機能を使って USB 端子で SD カードの複製（クローン、コピー）が出来ますので大変便利です。SD Card Copier の使い方は巻末で簡単に説明します。

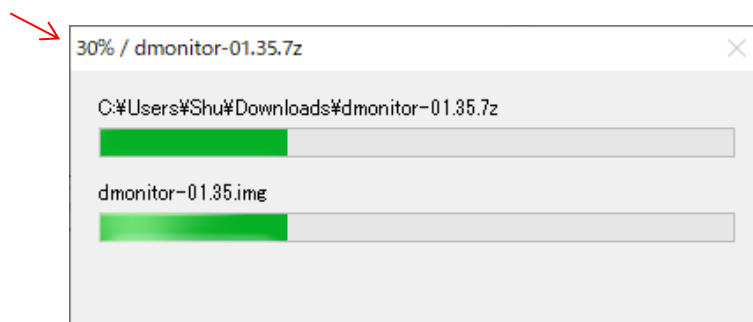
URL <http://app.d-star.info/debian/img/buster/> から次のように圧縮ファイをダウンロードします。（1 時間以上の時間がかかる場合があります）



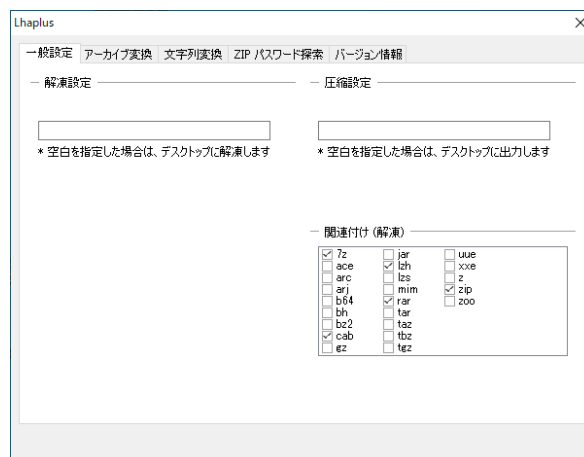
ダウンロードした圧縮ファイル **dmonitor-01.35.7z** はダウンロードフォルダー①に保存されているのでこれをクリックして巻末で説明する解凍ソフト **Lhaplus** で解凍すると……



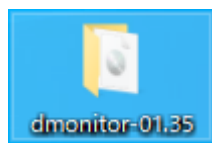
……解凍が始まります。



私の **Lhaplus** は初心者用デフォルトの設定が次のようになっていますので、解凍が終わると……

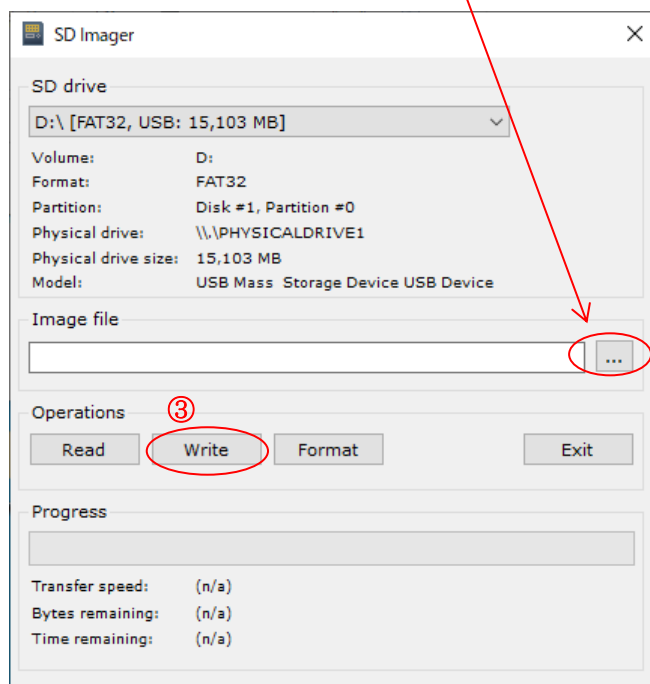
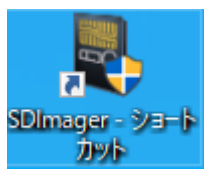


……デスクトップに次のようなアイコンが出来てそのフォルダーの中にイメージファイルがあり、

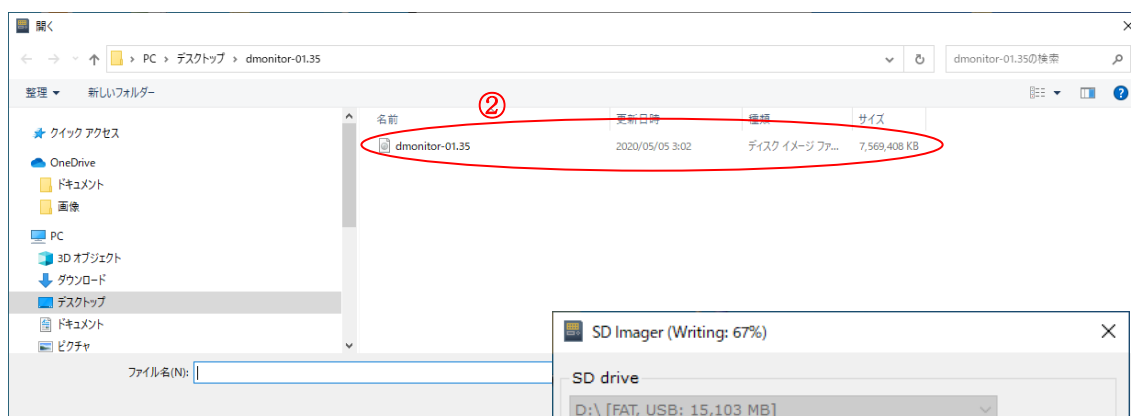


これを **SDImager** で **SD カード** に書き込み（焼き付け）ます。

デスクトップにあるアイコンのクリックでポップアップする画面のここをクリック。



次に、デスクトップに出来た dmonitor-01.35 ディスクイメージファイル ② を選択して Operations の Write ③ をクリックしたら書き込みが始まってグリーンのプログレスバー ④ が表示されて進行状況が分かります。



グリーンのプログレスバーの下に表示される項目 ⑤ はそれぞれ

Transfer Speed:

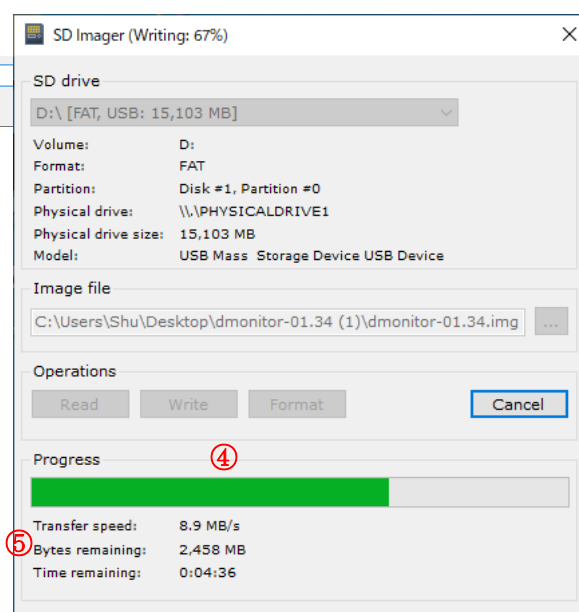
一秒間に書き込まれるバイト数。

Byte remaining:

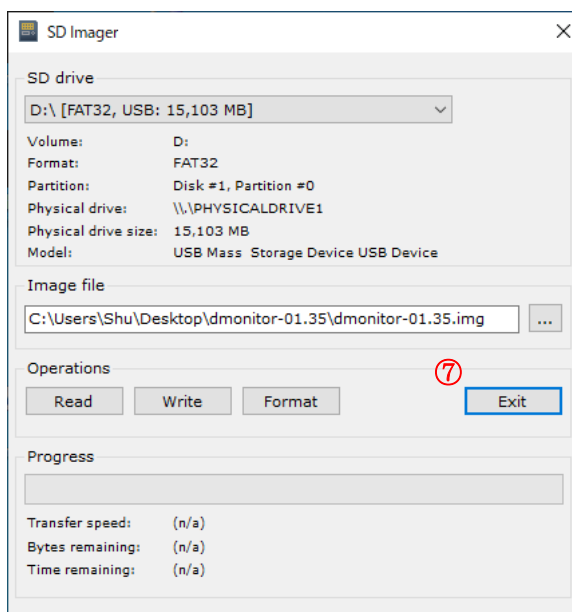
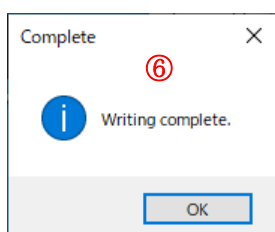
書き込みが必要な残りのバイト数。

Time remaining:

書き込みに必要な残り時間。



書き込みが終わると Writing complete (書き込み完了) の表示画面⑥がポップアップします。OK ボタンをクリックして SDImager の Exit ⑦をクリックして画面を閉じます。

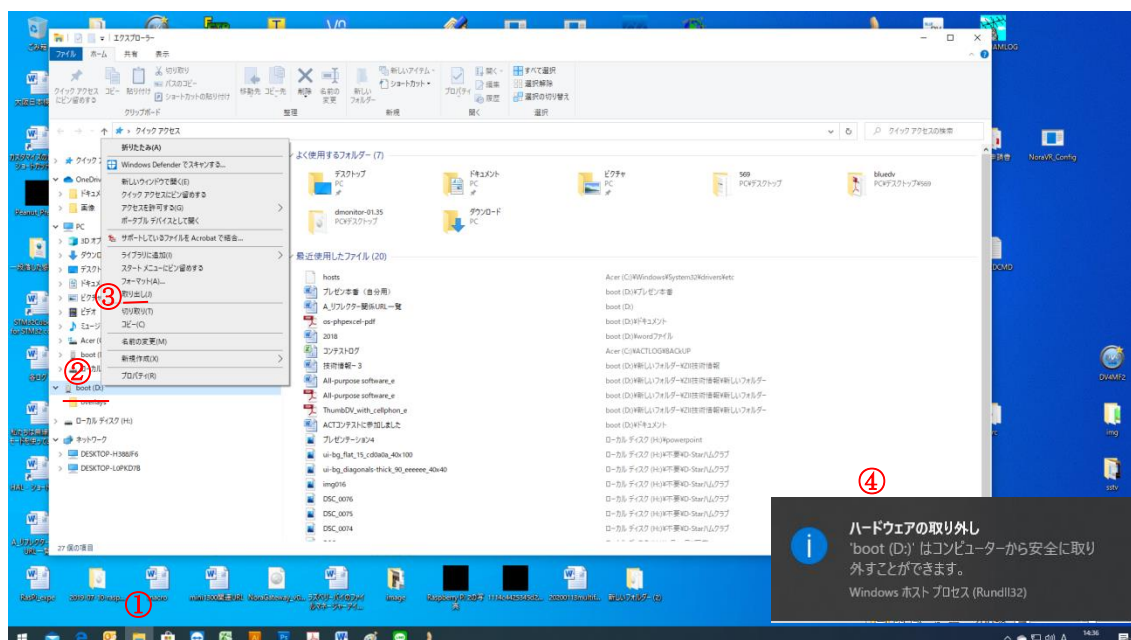


出来上がった SD カードを Raspberry Pi に装着して dmonitor を起動しますがイメージファイルを SD カードに焼き付ける方法など詳細は、次の URL の「dmonitor 体験記」

も参照して下さい。 http://hamradio.dip.jp/ja3gqj/dmonitor_expe.pdf

出来上がった SD カードを取り出すときは必ず次の手順で行います。

フォルダーを左クリック① → 開いたフォルダーの boot(?) を右クリック② → ポップアップした画面の取り出し③をクリックして → ハードウェアの取り出し④がでたら取り出す。boot(?) は各人異なり私の場合 boot(D) でした。



この方法で完成した SD カードは必ず有線 LAN で実行してコールサインの設定が終わった後、必要に応じて無線 LAN (WiFi) の設定をします。

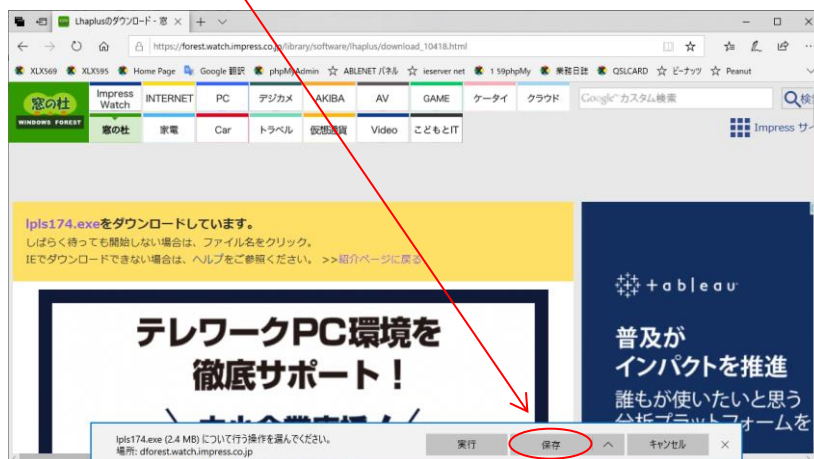
As of May 7, 2020

① 解凍ソフト Lhaplus のインストール

7z 形式の圧縮ファイルが解凍できる Lhaplus は 2020 年 5 月 5 日現在つぎの URL からダウンロードできました。<https://forest.watch.impress.co.jp/library/software/lhaplus/> 開いたページの **ここ** をクリックする。



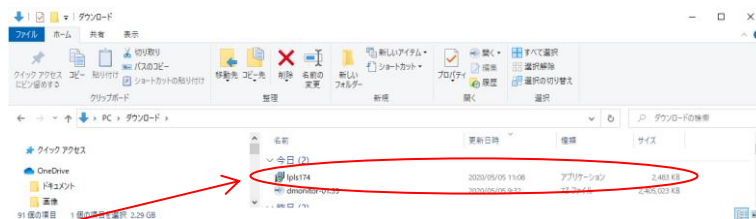
クリックしたら次の画面で「保存」をクリックする。



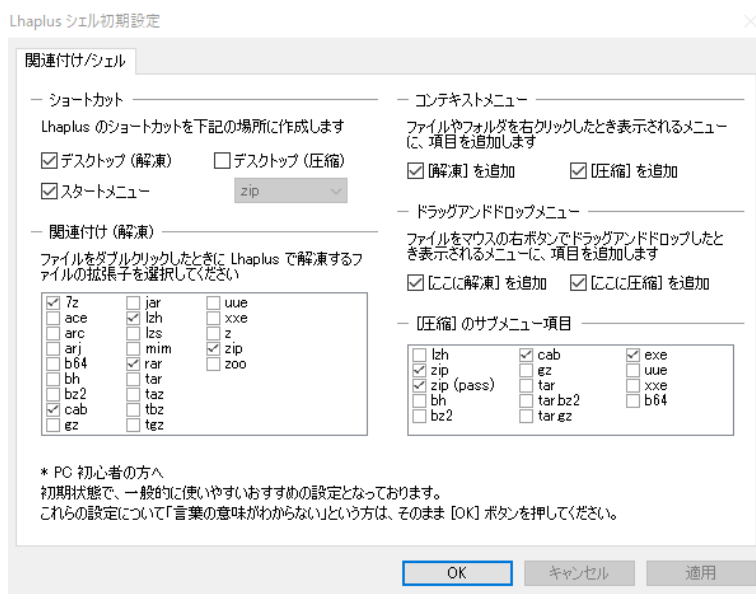
比較的短時間で「lpls174」のダウンロードが終わる。



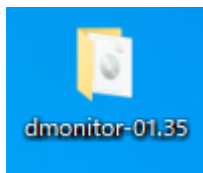
ダウンロードフォルダーに Lhaplus のアプリケーションファイルが出来ていますので.....



.....ここをクリックしてパソコン画面の表示に従って Lhaplus の実行ファイルをインストールします。インストールが終わると次の画面がポップアップしますのでそのまま「OK」ボタンをクリックします。

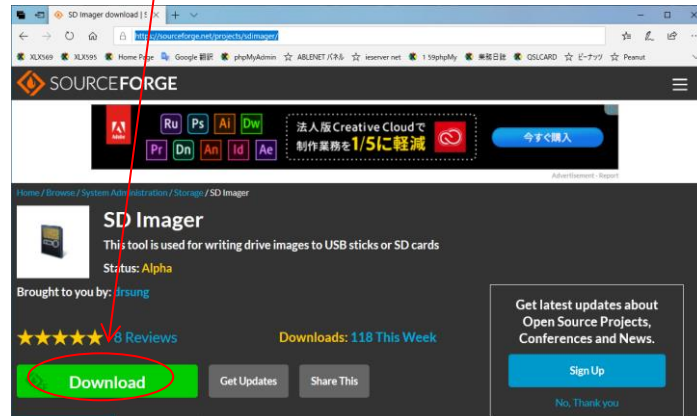


以上でインストールが終了しました。ダウンロードした 7z 形式の圧縮ファイルをクリックすると解凍されたファイルがデスクトップに生成される圧縮ファイル名の付いたフォルダーの中に生成されています。

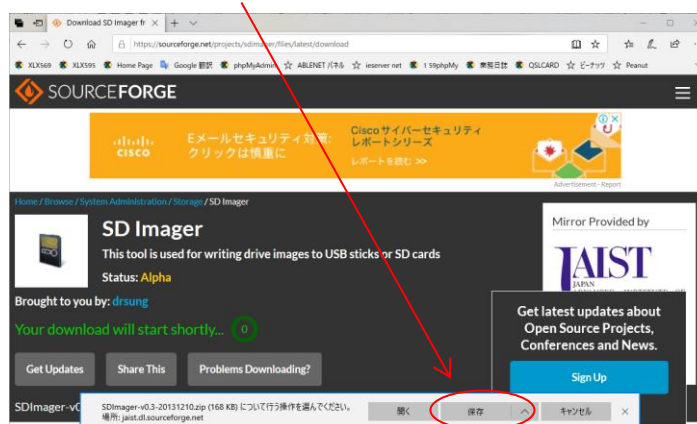


② SDImager のダウンロード

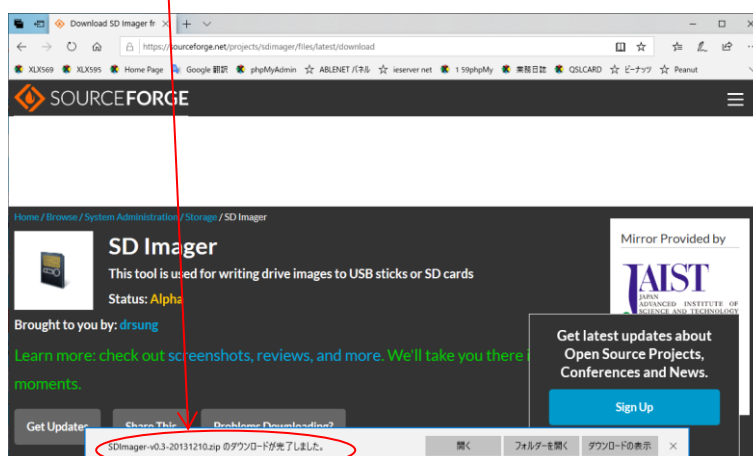
イメージファイルを SD カードに書き込む（焼き付ける）ソフト SDImager は 2020/5/5 現在つぎの URL からダウンロード出来ました。<https://sourceforge.net/projects/sdimager/> ポップアップしたページのここをクリックする



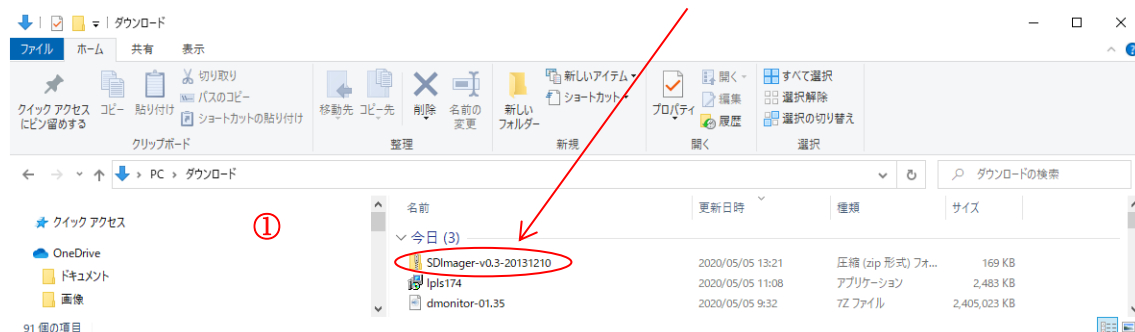
次にポップアップするページの「保存」をクリックする。



比較的短時間で「SDImager-v0.3-20131210」のダウンロードが終わる。



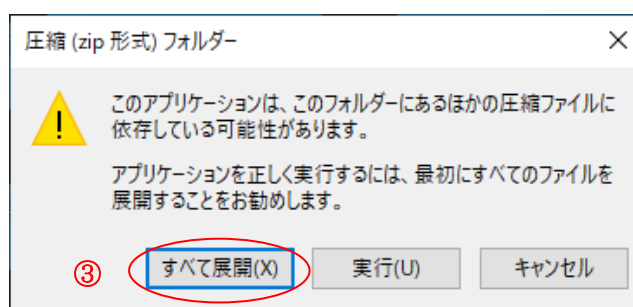
ダウンロードフォルダー①の圧縮ファイル SDImager-v0.3-20131210 をクリックする。



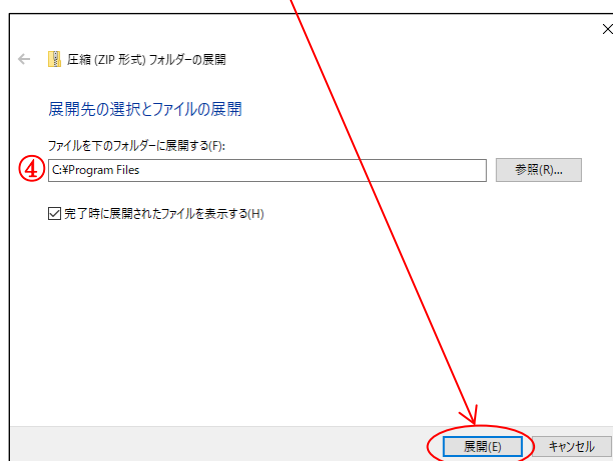
次にポップアップする画面②のファイル SDImager をクリックする。



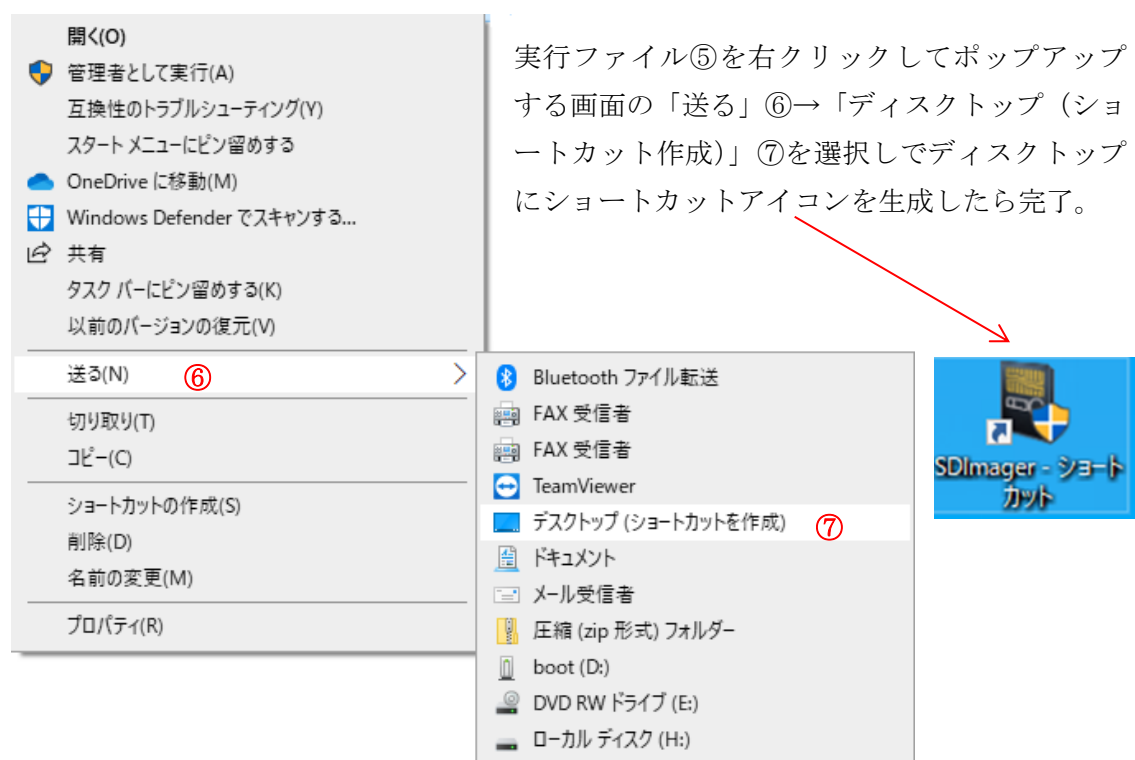
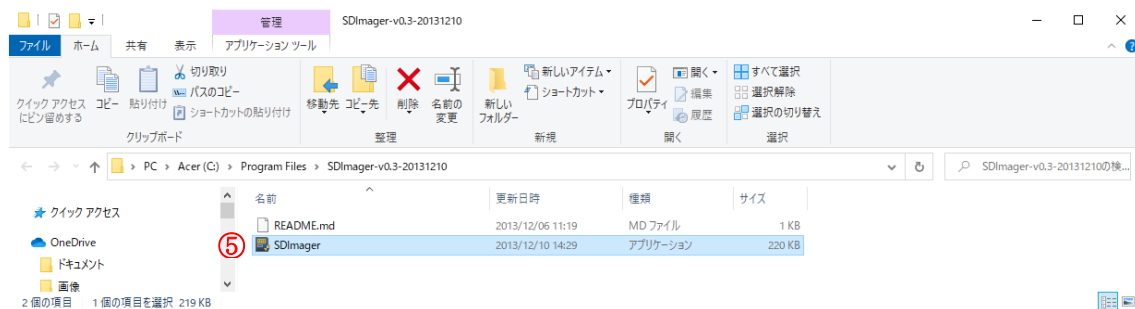
次にポップアップする圧縮(zip形式)フォルダーの「すべて展開 (X)」③をクリックする。



次にポップアップする画面でファイルの展開先 (インストール先) (私の場合は C ドライブの Program Files④にした) を決めて「展開」をクリックする。



その指定先に実行ファイル⑤が生成された。



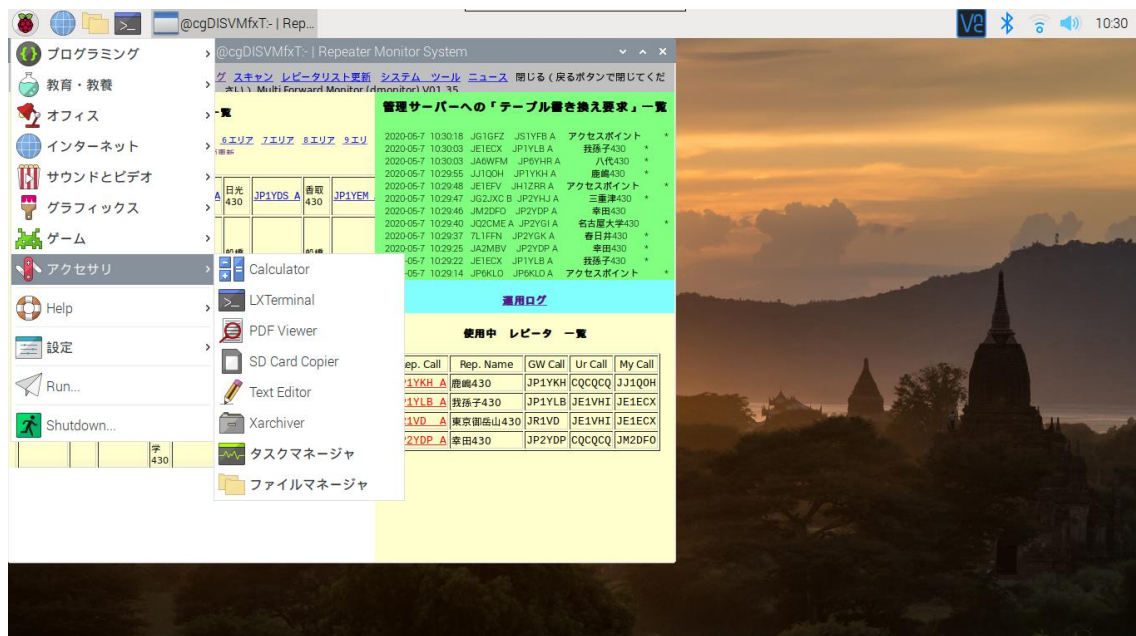
この私の手順は各人多少異なる場合があるかもしれません。

③ Raspberry Pi 3 の SD Card Copier 機能の使い方

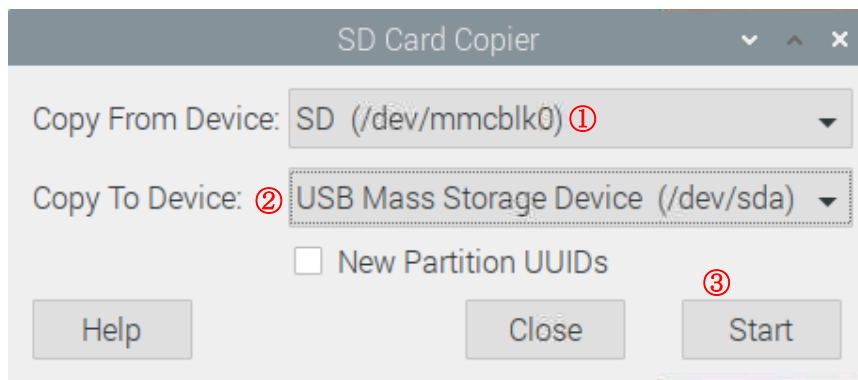
この機能を使えば SD カードの複製（クローン、コピー）を簡単に作ることができますが dmonitor の Raspberry Pi 3 にはマウス、キーボード、ディスプレイが接続され、外付け SD カードリーダーがあることが前提です。

複製（クローン、コピー）を作る SD カードを装着した外付け SD カードリーダーを Raspberry Pi 3 の USB 端子に装着する。

次にキーボードのファンクションキー F11 をクリック。開いた画面の左上のアイコン  をクリックしてポップアップする画面でアクセサリを選択する。更に、その右とりにポップアップする画面の SD Card Copier を選択する。



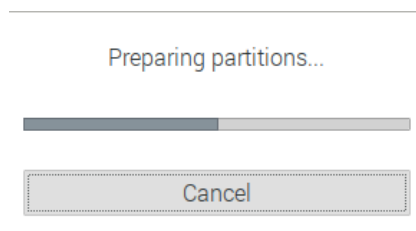
ポップアップした SD Card Copier 画面で右端の  をクリックして現在 dmonitor を動作させている SD カードの在り処（Copy From Device）①と複製（クローン、コピー）先の SD カードの在り処（Copy to Device）②を表示して Start ③をクリックする。



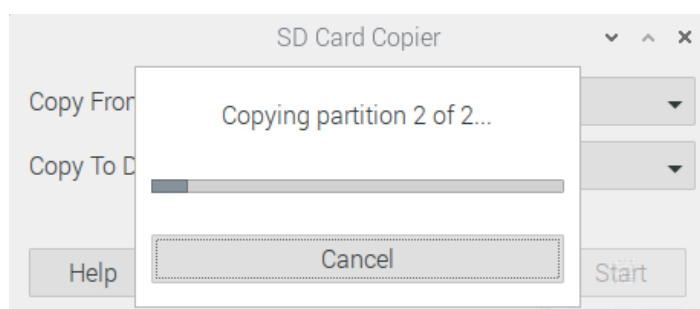
Start ③をクリックすると「コピー先の SD カードの内容がすべて消されるがそれでも
よいか」といった趣旨のメッセージ画面がポップアップするので Yes④をクリックすると
複製（コピー）が始まります。



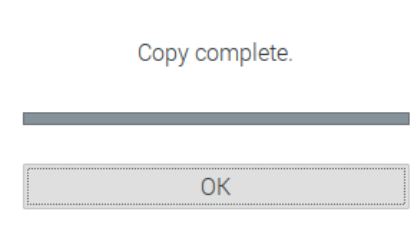
最初はパーティションを作っているらしいです。



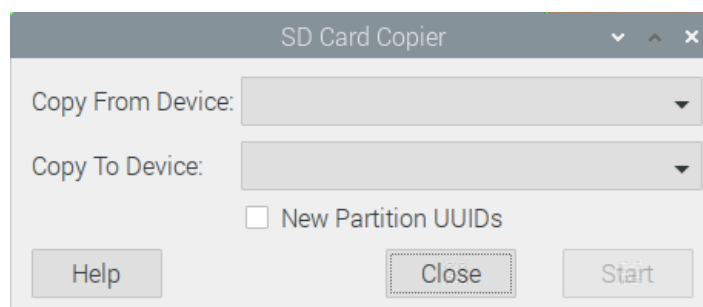
それが終わると次の画面のように本格的なコピーが始まります。これにはかなりの時間がかかりますが気長に待つしかありません。



Copy complete の画面ポップアップで終了なので OK をクリックします。



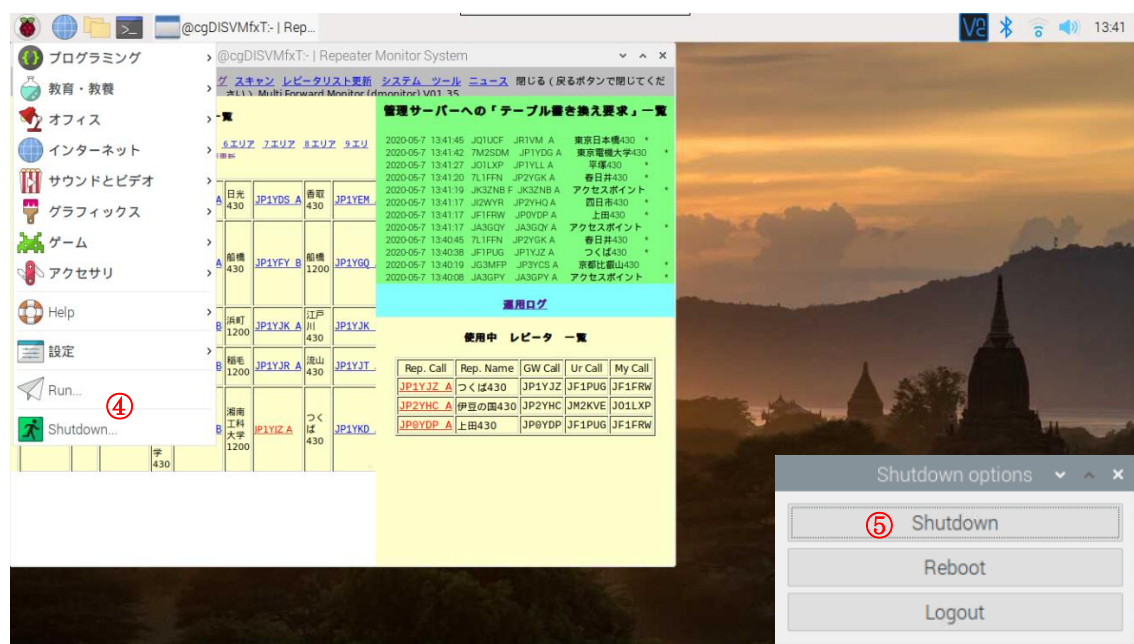
次の画面が残っていたら Close をクリックします。



複製が完了した SD カードを取り出すとき私は一旦 Raspberry Pi を次の方法で停止しますが、停止しないまま取り出す方法もあると思います。

画面の左上のアイコン  をクリック→ポップアップする画面で Shutdown④をクリック→ポップアップする画面（Shutdown option）の Shutdown⑤をクリックで停止。

出来上がった SD カードは複製（クローン）なので新しい設定は不要で自局ではそのまま使用出来ます。有線 LAN で使っている場合 コールサインの設定変更だけで他局に QSY 出来ます。無線 LAN（WiFi）の場合は QSY 先での WiFi 設定とコールサイン設定が必要です。自局では予備として保管するのもいいのでは・・・



以上

